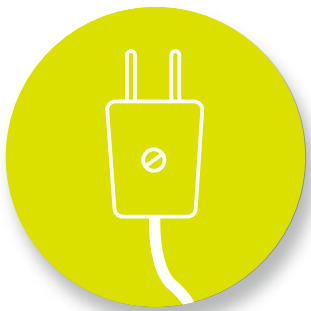
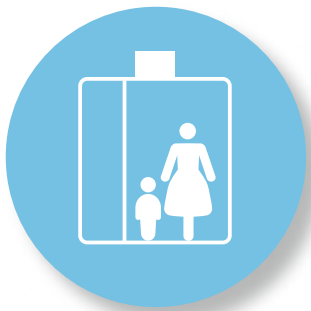
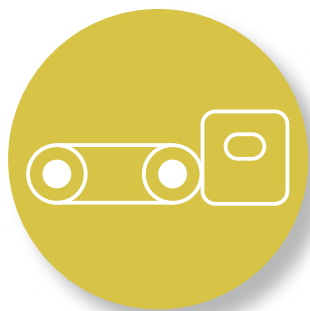
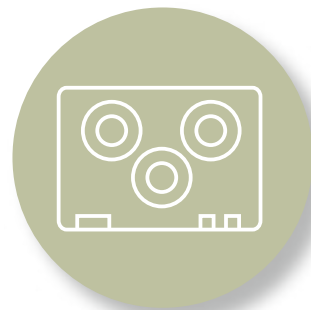
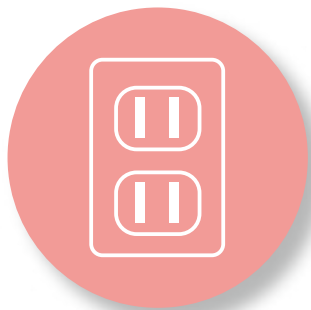
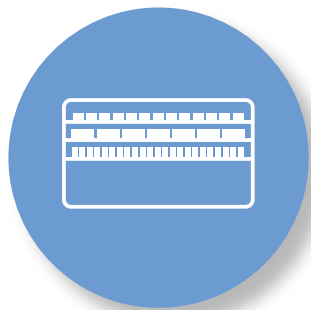
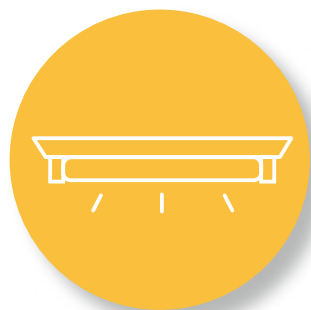


# 飲食店における 節電方法のご紹介



ともに輝く明日のために。  
Light up your future.

ほくてん



## 飲食店における節電ポイントのご紹介

飲食店は営業形態ごとに電力使用の形態が大きく異なるため、各設備ごとの節電率を記載しています。

飲食店においては、**空調・照明・厨房機器等**（給湯・冷蔵庫・ショーケース等）の節電が非常に効果的なため、ぜひご協力ください。

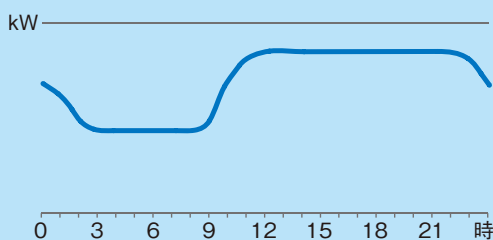


### 1日の電気の使われ方（夏期のピーク日）

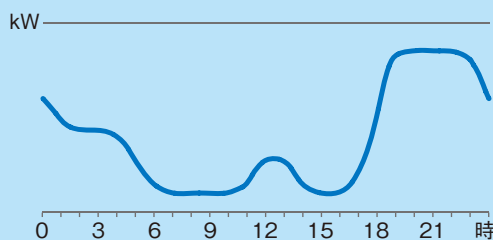
・24時間型・昼型・夜型など営業種別により営業時間帯が異なり、外気温や入客状況に応じて電力消費の状況が大きく異なります。

図1: 飲食店における電力需要カーブの事例

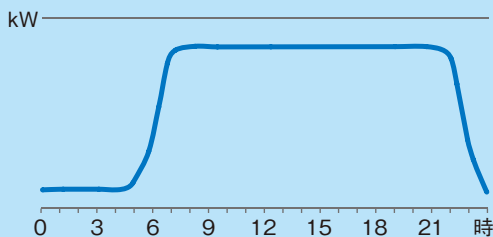
**24時間型** 例) ファミリーレストランなど



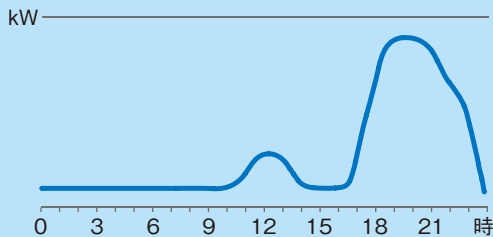
**夜～深夜型** 例) 居酒屋など



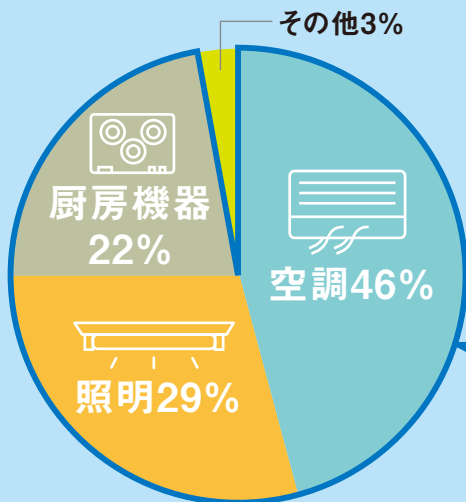
**朝～夜型** 例) ファーストフード店、カフェなど



**夜型** 例) レストランなど



出典: 資源エネルギー庁推計



### 電力消費の内訳（夏期のピーク時断面（例））

- ・電力消費のうち、空調が約46%、照明が約29%、厨房機器等（給湯・冷蔵庫・ショーケース等）で約22%を占めます。
- ・これらを合わせると電力消費の約97%を占めます。

**空調、照明、厨房機器等で約97%**

図2: 飲食店における用途別電力消費比率の事例




出典: 資源エネルギー庁推計

# 夏の節電チェックシート






設備毎の  
節電効果

チェック


## 電力消費の多い機器の節電にご協力をお願いします。

 <b>照明</b>	・使用していないエリア(事務室等)や不要な場所(看板、外部照明等)の消灯を徹底し、客席の照明を半分程度間引きする。	<b>40%</b>	<input type="checkbox"/>
 <b>空調</b>	・店舗の室内温度を28℃とする(または、風通しなど室内環境に配慮しつつ、28℃より若干引き上げる)。	<b>8%</b> (+2℃の場合)	<input type="checkbox"/>
 <b>厨房</b>	・冷凍冷蔵庫の庫内は詰め込みすぎず、庫内の整理を行うとともに、温度調節等を実施する。	<b>3%</b>	<input type="checkbox"/>

## メンテナンスや日々の節電にもご協力をお願いします。

 <b>照明</b>	・従来型蛍光灯を、高効率蛍光灯やLED照明に交換する。 (従来型蛍光灯からHf蛍光灯又は直管形LED照明に交換した場合、約40%消費電力削減。)	<input type="checkbox"/>
 <b>空調</b>	・使用していないエリアは空調を停止する。	<input type="checkbox"/>
	・フィルターを定期的に清掃する(2週間に一度程度が目安)。	<input type="checkbox"/>
	・日射を遮るために、ブラインド、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する。	<input type="checkbox"/>
 <b>厨房</b>	・使用していない機器(調理機器など)のプラグを抜く。	<input type="checkbox"/>
	・調理機器の設定温度の見直しを行う。	<input type="checkbox"/>
 <b>コンセント 動力</b>	・業務用冷蔵庫のドアの開閉回数や時間を低減し、冷気流出防止ビニールカーテンを設置する。	<input type="checkbox"/>
	・電気式給湯機、給茶器、温水洗浄便座、エアタオル等のプラグをコンセントから抜く。	<input type="checkbox"/>
 <b>その他</b>	・デマンド監視制御装置を導入し、警報発生時に予め決めておいた節電対策を実施する。	<input type="checkbox"/>

## 従業員への節電の啓発も大事です。

 <b>節電啓発</b>	・店舗全体の節電目標と具体的アクションについて、従業員へ理解と協力を求める。	<input type="checkbox"/>
	・節電担当を決め、責任者(店長)と関係全部門が出席したフォローアップ会議や節電パトロールを実施する。	<input type="checkbox"/>
	・従業員に対して、家庭での節電の必要性・方法について情報提供を行う。	<input type="checkbox"/>

合 計

%

ご注意

- ・空調については電気式空調を想定しています。
- ・一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
- ・節電を意識しすぎるあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものとならないようご注意ください。



## 飲食店における節電ポイントのご紹介

飲食店は営業形態ごとに電力使用の形態が大きく異なるため、各設備ごとの節電率を記載しています。

飲食店においては、**照明・厨房機器等**（給湯・冷蔵庫・ショーケース等）の節電が非常に効果的なため、ぜひご協力ください。

※下記は、全国平均の電力消費となっています。  
電気式の暖房機器をご使用のお客さまにおかれましては、**暖房**の節電も効果的となります。

### 1日の電気の使われ方（夏期のピーク日）

・24時間型・昼型・夜型など営業種別により営業時間帯が異なり、外気温や入客状況に応じて電力消費の状況が大きく異なります。

図1: 飲食店における電力需要カーブの事例

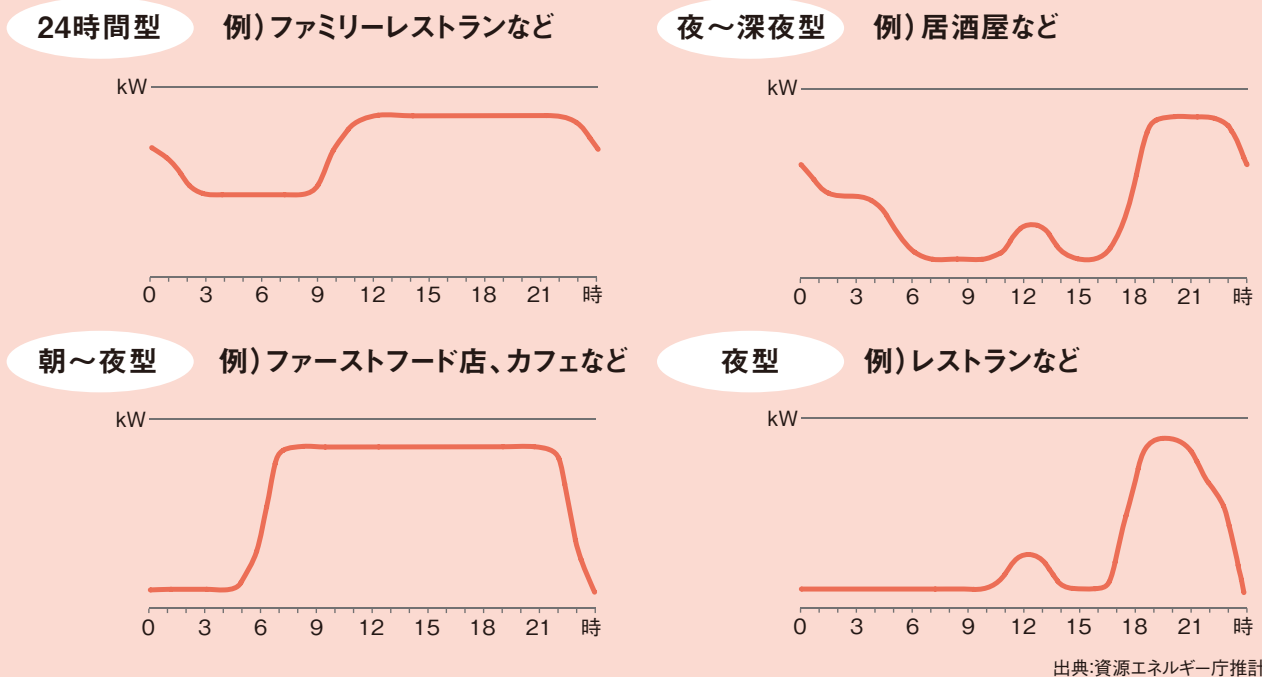
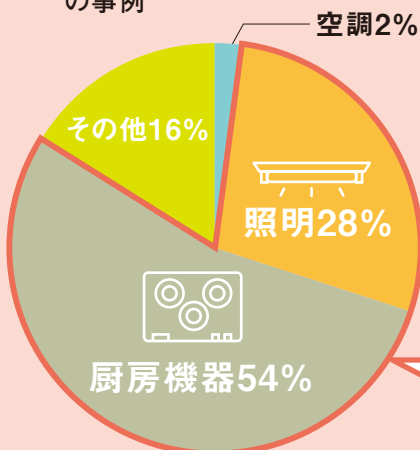


図2: 飲食店における用途別電力消費比率の事例



### 電力消費の内訳（冬期のピーク時断面(例)）

- ・非電気式空調の場合、電力消費のうち、照明が約28%、厨房機器等（給湯・冷蔵庫・ショーケース等）で約54%を占めます。
- ・これらを合わせると電力消費の約82%を占めるため、これらの分野における節電対策は特に効果的です。
- ※電気式空調の場合は、空調への節電対策も大きな効果となります。
- ※補助的に使用する暖房や、凍結防止等に電気ヒーターを利用されている場合は、可能な範囲で使用をお控えいただくと、節電効果が期待できます。



照明、厨房機器等で  
約82%






# 冬の節電チェックシート


飲食店は営業形態ごとに電力使用の形態が大きく異なるため、各設備ごとの節電率を記載しています。

設備毎の  
節電効果

チェック

照明および厨房での基本アクションをお願いします。			
 照明	・使用していないエリア(事務室等)や不要な場所(看板、外部照明等)の消灯を徹底し、客席の照明を半分程度間引きする。	40%	<input type="checkbox"/>
 厨房	・冷凍冷蔵庫の庫内は詰め込みすぎず、庫内の整理を行うとともに、温度調節等を実施する。	3%	<input type="checkbox"/>

メンテナンスや日々の節電努力もお願いします。			
 照明	・従来型蛍光灯を、高効率蛍光灯やLED照明に交換する。 (従来型蛍光灯からHf蛍光灯又は直管形LED照明に交換した場合、約40%消費電力削減。)		<input type="checkbox"/>
 厨房	・使用していない機器(調理機器など)のプラグを抜く。		<input type="checkbox"/>
	・調理機器の設定温度の見直しを行う。		<input type="checkbox"/>
 コンセント 動力	・業務用冷蔵庫のドアの開閉回数や時間を低減し、冷気流出防止ビニールカーテンを設置する。		<input type="checkbox"/>
	・温水洗浄便座は保温・温水の温度設定を下げ、不使用時はふたを閉める。		<input type="checkbox"/>
	・電気式給湯機、給茶器、エアタオル等のプラグをコンセントから抜く。		<input type="checkbox"/>
 空調	・ロードヒーティングやルーフヒーティング等の融雪用機器は積雪状況に応じて手動による制御を行う等により、可能な限り不要な運転を抑制する。		<input type="checkbox"/>
	・店舗の室内温度を19℃とする。		<input type="checkbox"/>
	・使用していないエリアは空調を停止する。		<input type="checkbox"/>
	・フィルターを定期的に清掃する(2週間に一度程度が目安)。		<input type="checkbox"/>
 その他	・暖気を逃がさないよう窓には断熱フィルムを貼る。夕方以降は厚手のカーテン等を活用する。		<input type="checkbox"/>
	・ハロゲンヒーター等、電熱線系の暖房機器の利用を避ける。		<input type="checkbox"/>
	・デマンド監視制御装置を導入し、警報発生時に予め決めておいた節電対策を実施する。		<input type="checkbox"/>

従業員への節電の啓発も大事です。			
 節電啓発	・店舗全体の節電目標と具体的アクションについて、従業員へ理解と協力を求める。		<input type="checkbox"/>
	・節電担当者を決め、責任者(店長)と関係全部門が出席したフォローアップ会議や節電パトロールを実施する。		<input type="checkbox"/>
	・従業員に対して、家庭での節電の必要性・方法について情報提供を行う。		<input type="checkbox"/>

## ご注意

- ・非電気式空調における節電効果は僅かですが、適切な稼働抑制は使用燃料等の省エネに繋がります。
- ・一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
- ・節電を意識しすぎると、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものにならないようご注意ください。

## 「北海道エリアのでんき予報」のお知らせ

ほくでんホームページの「北海道エリアのでんき予報」では、ピーク時供給力や最大需要予測等の需給状況をお知らせしています。節電にご協力いただく際の参考として、ご活用ください。(翌日の予報は毎日17時頃に公表しております。)

### ■ほくでんホームページ「北海道エリアのでんき予報」(イメージ)



#### ピーク時予想使用率の色について

緑 色:安定的 (90%未満)  
 黄 色:やや厳しい (90%以上~95%未満)  
 濃い黄色:厳しい (95%以上~97%未満)  
 赤 色:非常に厳しい(97%以上)



## 節電に関するお問い合わせ

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
<b>旭川支店 お客さまサービスグループ</b>	0120-060-124	<b>小樽支店 お客さまサービスグループ</b>	0120-060-591
稚内ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-135	余市ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-593
浜頓別ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-140	岩内ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-596
名寄ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-167	倶知安ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-599
留萌ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-174		
深川ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-192	<b>釧路支店 お客さまサービスグループ</b>	0120-060-669
富良野ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-195	中標津ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-674
		弟子屈ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-684
<b>北見支店 お客さまサービスグループ</b>	0120-060-219	根室ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-695
紋別ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-229		
遠軽ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-237	<b>帯広支店 お客さまサービスグループ</b>	0120-060-732
網走ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-239		
		<b>室蘭支店 お客さまサービスグループ</b>	0120-060-813
<b>札幌支店 お客さまサービスグループ</b>	0120-060-327		
札幌北ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-328	<b>苫小牧支店 お客さまサービスグループ</b>	0120-060-852
札幌西ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-329	富川ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-853
札幌東ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-339	静内ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-854
札幌南ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-342	浦河ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-856
千歳ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-348		
		<b>函館支店 お客さまサービスグループ</b>	0120-060-912
<b>岩見沢支店 お客さまサービスグループ</b>	0120-060-408	八雲ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-913
滝川ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-409	江差ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-914
栗山ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-412	福島ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-915

受付時間 平日 / 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

番号をよくお確かめのうえ、お掛け間違いのないようお願いします。

ともに輝く明日のために。  
 Light up your future.

